

概要

- ドローンによる赤外線空撮画像から、圃場の農作物のNDVIと呼ばれるセンシングデータを取得し、農作物の生育状態を把握します
- タブレット操作による離着陸を含む自動飛行、自動撮影を実現し、どなたでも簡単かつ効率的にデータ取得が可能です
- センシングデータはクラウドにより簡単に参照・共有が可能で、農薬・肥料散布を自動で行うドローン、トラクターとの連携も可能です

利用シーン

- 日常的な生育状態のデータによる管理
- 農薬・肥料散布前の生育状態把握による施肥量の決定
- 降雨後など農地へ入れないときの農地・農作物の状態把握

コラボレーションパートナー

株式会社AIRSTAGE



北海道・更別村
 (内閣府・近未来技術等社会実装事業)





概要

- 牧場に放牧された牛の頭数・位置をドローン及びBluetoothタグで自動的に検知する実証実験を実施しました(JA摩周・弟子屈町営牧場)
- 飛行による検知精度(高度など)、ドローン飛行による牛の行動変化の確認等の実験を実施し、良好な結果を得ました
- 今後は効果の測定や、頭数・位置把握に加えて、動画・写真による現況確認や牧柵等の牧場施設点検も視野に実験を継続予定です

利用シーン

- 放牧牛を少人数で効率的に管理したい
- 放牧牛の頭数・位置把握を短時間で把握したい
- 牛だけでなく、牧場施設の管理もしたい

コラボレーションパートナー

株式会社AIRSTAGE

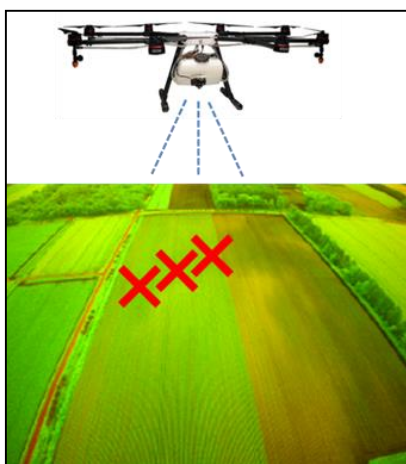


世界トップレベルの「スマート一次産業」の実現 に向けた実証フィールド形成による地方創生

一次産業分野におけるドローンの活用



生育状態把握
(自動飛行)



農薬・肥料散布
(可変量/ピンポイント)



更別村を“スマート農業のモデル地域”と位置付け、
農家等への普及(社会実装)を進めていきます。

概要

- 2018年8月8日に北海道・更別村で進めているドローン関連事業が、内閣府の「近未来技術等社会実装事業」として認定されました
- 先進的な農業技術としてドコモが提供する「ドローン農作業支援サービス」の、農家等へ普及(社会実装)を進めています
- 農家等への先行導入やシステムの改善も進め、2020年末にドローンによる農作業が“当たり前”に行われる世界を実現します

利用シーン

- 日常的な生育状態のデータによる管理
- 農薬・肥料散布前の生育状態把握による施肥量の決定
- 降雨後など農地へ入れないときの農地・農作物の状態把握

コラボレーションパートナー

北海道・更別村
株式会社AIRSTAGE
農業情報設計社 等
“更別村スマート産業イノベーション協議会”参加企業・団体

